



大津校舎通信

学校状況のお知らせ

令和3年8月号 山口県立大津緑洋高等学校

「オープンキャンパス大津緑洋 in 大津」開催！

8月18日(水)に「オープンキャンパス大津緑洋 in 大津」を開催しました。

今年度も新型コロナウイルス感染症対策のため、参加者を中学校3年生に限定して、少人数のグループ編成により、複数会場に分かれて実施しました。市内外から131名が参加してくれました。

本校のオープンキャンパスは生徒が企画・運営に積極的に関わっています。「オープニング」での副校長、生徒会長の挨拶や、学校行事、部活動等の紹介ビデオの撮影・編集・上映に取り組み、当日は各会場の進行を担当しました。

「体験授業」では国語、社会、数学、理科、英語の5教科の授業をリトルティーチャーとしてサポートし、楽しい授業の実践に貢献しました。

「在校生と語ろう」では、大津校舎の特色やアピールポイントを生徒自らが考え、クイズ形式で紹介しました。また、日頃の学校生活や部活動のこと、勉強のことなどについての中学生からの質問に対して、体験をもとに優しく丁寧に回答していました。その後の部活動見学では、中学生を誘導したり案内したりしました。

このオープンキャンパスを進路選択の参考にして、多くの中学生が大津緑洋高校大津校舎に来てくれることを心からお待ちしております。



ロシア・ソチ市とのオンライン交流会 開催！

8月19日(木)に、大津・日置・水産3校舎の生徒約50人が、ロシア・ソチ市の中学・高校・大学生15人とオンラインで交流会を行いました。長門市とソチ市は、2018年9月に姉妹都市協定を締結しており、今回の交流会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、ソチ市の生徒たちの長門市訪問が叶わない状況下でも、オンラインを活用することで両市の架け橋としての役割を果たしたいという思いから、長門市と連携して実現しました。

交流会では、長門市地域おこし協力隊(国際交流事業担当)のリリヤ・フィリチャギナさんの協力を得ながら、日本語、英語、ロシア語を交えて、双方がそれぞれの市の魅力や、文化の紹介をして親睦を深めました。

大津緑洋高校の生徒たちは、まず長門市の魅力を発信するため、生徒自らが長門市各地や学校生活の様子を撮影し作成したムービーを披露しました。その後、アニメ・剣道・和食等の日本文化に関するクイズを交えながら紹介しました。

質問タイムでは、大津緑洋高校から「日本のイメージ」について質問すると、「侍、芸者、忍者が歩いている。」といった回答があり、生徒たちは驚いていました。

長門市からのプレゼントとして、日置校舎の生徒たちが考案した「和風ピロシキ」のレシピや水産校舎の「ストラップ」と「コースター」、また生徒たちが選んだ漢字を書いたハガキなどを送りました。ソチ市からは、学生・教員自作の絵がプレゼントされ、生徒たちは思わず感嘆の声をあげていました。

